

# らみやど

既戸

発行：社会福祉法人 聖家族の園 理事長 杉山好文  
☎411-0936 静岡県駿東郡長泉町元長窪888-69 TEL 055(989)0250 FAX 055(989)0252  
E-mail seikazoku-akira@tiara.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.nagaizumi-home.jp>



# ながいずみホーム

ひな祭り限定ケーキも  
大好評!!



ひな人形と一緒に  
記念撮影

美人に  
撮ってね!!



おいしいっ!!



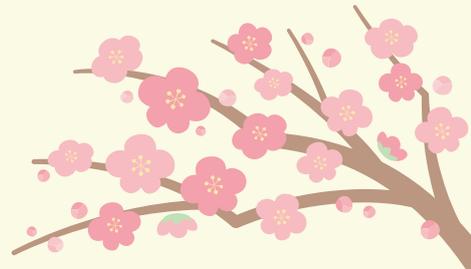
## ながくぼデイサービス Moku Ohana モク オハナ

コロナ禍の中で「密」に気を付けながら  
避難訓練を行いました!

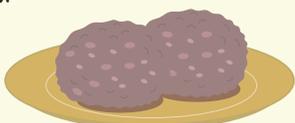
避難  
訓練



ぼたもち  
作り



お彼岸にぼたもちを作って  
美味しく食べました♪



# 希望のわだち柿田

今年も立派な  
わだち桜が咲きました



今年も利用者の皆さんと職員で力を合わせて  
わだちに立派な桜が咲きました。  
利用者さんのご家族から本物の桜の花も頂き、  
記念に写真を撮りました。  
どちらもとっても綺麗ですね。

現場からの 声をお届け

## 主任だより♪



特養・ショート看護主任  
看護師 佐竹 幸恵



桜の花が咲き誇る季節となり、一年で最も華やかな時期がやってまいりました。  
ながいずみホーム特養看護主任をしております佐竹と申します。

新年度を迎えるにあたり、特養看護師として「私たちが目指していきたい看護」  
を日々の業務を振り返りながら話し合いを行い、今年度の看護のスローガンを決  
定しました。

- い つも笑顔で
- い つも暖かく
- よ り添う看護を

です。

コロナ禍の中、苦しい経験を沢山した時間は、人の気持ちを理解するために必  
要な時間や経験だったと思います。「ダメ」という言葉を使わずに「いいよ」の声掛  
けを心がけながら、利用者様のために力を発揮できるよう日々努めてまいります。

寒さがやわらいでいくとともに、コロナが終息することを願いながらご挨拶とさ  
せていただきます。

## 善意の皆様（令和3年度）

### 物品寄贈ありがとうございました

伊東 康行、柏木 清美、木村 文子、一杉 富美代、  
駿河ガーデン持田 忠継・陽子、田上 芳子、  
山下 茂、山田 好一、山田 由紀子、渡邊 信宏、  
静岡トヨタ自動車㈱、不二聖心女子学院

（順不同・敬称略）

「ながいずみホームを支援する会」に  
18名の皆様からご支援をいただきました。  
ありがとうございました。  
誠に申し訳ございませんが、紙面の都合上  
お名前は割愛させていただきます。

令和3年度も温かいご支援をいただきまして、ありがとうございました。  
今年度も引き続き、ご支援をよろしくお願いいたします。



## 令和4年度のボランティア活動の受け入れについて

令和3年度のボランティア活動受け入れにつきましては、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、やむなく中止とさせていただきます。この間も、状況確認のご連絡をいただくなど温かなお心遣いを頂戴いたしましたこと、心よりお礼申し上げます。

令和4年度につきましても、当面のところ受け入れ中止を継続させていただきますが、国内の感染状況が改善され、受け入れが可能となった際には改めてご連絡をさせていただきます。

今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

## 令和3年度 ながいずみホームを支援する会 収支報告

（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

収入金額	1,027,976円
支出金額	432,417円
差引金額	595,559円

（単位 円）

収入の部			支出の部		
科目	決算額	摘要	科目	決算額	摘要
前年度繰越金	650,969		物品購入	417	払込料金加入者負担分
会費	377,000	18名	ながいずみホームへ寄付	432,000	電動ベッド1台、車椅子2台購入費用として
預金利息	7	8/23、2/21	次年度繰越金	595,559	
収入合計	¥1,027,976		支出合計	¥1,027,976	

# 令和4年度 社会福祉法人聖家族の園 事業計画

## 基本方針

コロナ禍の暮らしも2年が経過し、さらには変異株が猛威を振るい、未だ終息すら見いだせない状況です。そのような中で良くも悪くもこの生活に慣れ、暮らし方も変化させながら対応してきましたが、漠然とした不安や焦燥感は払拭できず、積み重なったストレスに疲弊しているのが現実です。特に人と人の結びつきが希薄にならざるを得ない環境の中だからこそ、『ホスピタリティ』を強く意識して、『心』と『人』を最優先に考えた法人運営を続けていきます。

4月に法人は創立30周年を迎えます。これまで築き上げたものをさらに充実・進化させ、一年後に控えている看護小規模多機能事業の開始や地域包括支援センターの事業体制の変更のための準備をする年、「地域づくり」をさらに進める一年とします。

職員一人ひとり及びチームのスローガンを『ワンフォーオール・オールフォーワン』（一人は皆のために、皆は一つの目的のために）とし、チーム（組織）力をフル活用し、目の前のさまざまな課題に取り組んでまいります。

## 重点項目および目標

### ◎ホスピタリティの視点

#### 1. 働く仲間（パートナー）に対するホスピタリティ

- 多様性の理解を深め、働く仲間に対して絶えず関心を持ち、気持ち良く働ける環境をつくる
- 人財の育成は、訓練ではなく教育（心・気持ち）に重点を置き、「生きている人」をつくる・育てる（生き生きと楽しむ人、喜怒哀楽）
- お互いにサポートする意識とフォローアップできる体制

#### 2. 取り扱う商品（サービス）に対するホスピタリティ

- 個別性への柔軟な対応とその人らしいカスタムオーダーメイドサービスの提供（個人の色）
- 「ルーチンをぶっ壊す！」という気持ちで、多角的な視点を持つ（違和感）

#### 3. 働く施設（職場）に対するホスピタリティ

- 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）+1S（作法=正しい行動=ホスピタリティ）
- チーム活動の潤滑油「ハウ・レン・ソウ」の徹底（他者への影響）

#### 4. 地域社会に対するホスピタリティ

- 地域の一員という意識を持つためには、受動的（待ち）ではなく能動的（出向く）な姿勢を保持し、「隣組」というぐら이의関係性を構築していく（距離感）

### ◎業績の視点

- 生産性という観点での目標設定と予算管理（何を創り出しているのか？）
- 新規事業（看護小規模多機能、地域包括支援センター）の準備
- リスクマネジメントとBCP（災害、感染症、情報管理、人財不足 等）

# 令和3年度『お客さまの声』の報告書です。

令和3年度の皆様からのご意見・ご要望あるいは苦情といった『お客さまの声』をまとめさせていただきましたので、下記のとおりご報告いたします。

## 【月別・サービス別】

月	特養	ショート	デイ	ヘルパー	居宅	栄養科	事務	希望のわだち	北包括	合計
4	0	2	2 (1)	4	0	0	2 (1)	2	0	12 (2)
5	0	2	2	1	0	0	0	3	0	8
6	0	0	2	0	0	0	0	2	0	4
7	25	12	0	2	0	0	0	0	0	39
8	23	7	4	0	0	0	0	0	0	34
9	4	1	3	1	0	0	0	0	0	9
10	7	3	2	5	0	0	0	4	0	21
11	0	1 (1)	1	0	1	0	0	0	0	3 (1)
12	0	1	0	0	0	0	0	3	0	4
1	1	1	0	3	0	0	0	0	2	7
2	0	1	0	3	0	0	0	1	0	5
3	0	1	0	0	0	0	0	3	0	4
合計	60	32 (1)	16 (1)	19	1	0	2 (1)	18	2	150 (3)

\*件数のうち、左がお客様の声と苦情の総数、括弧内の数字はそのうちの苦情の件数です。

\*特養・ショート of 7、8月の件数については、新システム移行の試行期間として全員に意見を募集しご回答をいただいた件数になります。

## 【お客さまの声 抜粋】

No.	受付日	申立人	対象部署	申立内容	対応及び結果	改善内容
1	11/5	ご本人	居宅	要介護3なら介護者慰労金がもらえるのに要介護1の認定結果は納得がいかない。今の自分の状態は要介護1より重いと思う。	担当ケアマネが訪問し、ご本人の要望を丁寧に聞き取る。介護者慰労金の制度、介護認定について説明しご理解を頂く。	ご利用者様の気持ちに寄り添うために、今後も傾聴の対応をしていきます。
2	11/18	職員	ヘルパー	利用者宅に向かう途中、壁に寄りかかり動けなくなっている人がいた。声を掛け、支援者に連絡し迎えに来てもらうよう手配した。	移動中でも異常を感じたら声を掛け、地域の方の見守りや手助けが出来るよう心掛ける。	
3	12/18	ご本人	希望のわだち	クリスマス会、皆が一生懸命私たちを喜ばせようとやっている姿を見て涙が出た。とてもありがたかったよ。職員皆に御礼を言っほしい。	コロナ禍の中、皆様との外出も叶わない為、何か月も前から準備をしてきたかきがありました。職員皆喜んでいましたと感謝をお伝えする。	

皆さまから様々なご意見・ご要望などをお寄せいただき、サービスの質の向上に活かしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひします。